

坂ノ市地域ビジョン会議 通信

第1号

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆さんにご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営などなど諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内13地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めてもらう中、それぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

第1回ビジョン会議



■平成29年6月2日（金） 14:00~16:00

■坂ノ市市民センター 大会議室

開会

一、顧問紹介

二、議事

- 1.地域の将来人口について（人口ビジョンより）
- 2.大分市総合計画について（大分市全体の方向性）
- 3.地域の現状について（各種資料の説明）
- 4.意見交換
- 5.地域まちづくりビジョン検討の進め方について

三、その他

閉会

事務局より資料の説明

◇総合計画

大分市総合計画は、福祉や環境、商工業など、各個別計画の最上位に位置する計画であり、大分市の行政運営はすべてこの総合計画に沿って進められています。

本計画では、大分市がめざすまちの姿（都市像）として「笑顔が輝き夢と魅力あふれる未来創造都市」を掲げ、その将来像の実現に向け①「健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり」、②「豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり」、③「安全・安心を身近に実感できるまちづくり」④「にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり」、⑤「将来にわたって持続可能な魅力あふれる街づくり」、⑥「自然と共生する潤い豊かなまちづくり」の6つの基本的な政策に沿った各種施策を展開しています。

◇将来人口

産業の種別ごとの就業者数割合を見ると、一次産業（農林水産業等）に従事する割合は2.2%で大分市の平均とほぼ変わりません。大きく他の地域と違うのは、二次産業と三次産業の割合です。二次産業（製造業や鉱工業）に従事する人口の割合は35.6%と平均より13.2ポイント高く、三次産業（小売りやサービス業）に従事する人口の割合は58.2%と平均より12.3ポイント低くなっています。これは、地域内に製造業の拠点が数多く立地している、坂ノ市の特徴をよく表していると思われます。

◇坂ノ市の現状について（各種データ）

◎待機児童数について、他の地域と比べると待機児童数が一桁となっており、比較的保育施設に恵まれていることがわかります。

◎消防団の充足率は、大分南部を除くすべての地域で定員割れをしており、大分市全体で考えていかなければならない問題ですが、中でも、鶴崎・大在・坂ノ市の東部地域については比較的充足率が高く、他と比べると地域のつながりの強さを感じられます。



意見交換

それぞれ委員の皆様から、坂ノ市地域の現状や、課題について、また坂ノ市の将来についてなど、いろいろと委員の皆様が感じていることについて多くの意見をいただきました。

・東部には、文化的施設や、健康増進施設がありません。子供達も高齢者も利用できるような施設があれば助かるなど思います、そういうのを是非この際考えて頂ければ幸いです。

・丹生を高齢者がより安心して安全に楽しく住めるようなまちにしたいという夢があります。そのために、民生委員さんにはこんな協力をしてほしい、ボランティアさんにはこんな協力をしてほしい、自治会さんにはこんな協力をしてほしい、そういうことを全体的にみんなで考えて作り上げていけば、その地区のビジョンはおのずと浮かび上がってくると思います。



・子育ての一般的な情報だけでなく具体的な実践方法を学んだり、相談できる場所が欲しい。



・東部地域は、人口が増えているポテンシャルが大きい地域。豊予海峡トンネルができれば、ちょうど坂ノ市あたりで出口ができるなど、今から夢を持てる地域だと思っています。



・小佐井校区の中でどこかひとつサッカーや野球なり、行事ができるような設備を市として提供したり、アドバイスを頂きたいと思います。



・佐野植物公園の利用者が非常に多く人気があります。いずれ清掃センターがなくなった場合、その跡地を市民に開放出来るような、思いっきり遊べるような施設が出来ないかと思います。

・最近公園がものすごく増えて子どもたちが遊ぶところも増えて、よくなってきたなと感じています。

・小規模農業に対し鳥獣被害対策の施策はないものか。

